

未来を担っていく子どもたちの思いはひとつ

“平和な世界であること”



奈良県ユニセフ協会
副会長
(まつぼっくり音楽の森の会 代表)

荒井敦子 さん

世界の国々へ音楽の旅を続け、現地で様々な学校を訪問。平和のメッセージを歌に託して、歌の力で、町と村、国と国、そして人と人をつないでいく合唱団活動に取り組んでおられる荒井敦子さん。

2001年の奈良県ユニセフ協会設立の当初から、県ユニセフ協会の副会長に就任され、以来4半世紀にわたって音楽を通じてユニセフ活動をご支援いただいています。

今回、子どもたちへの思いを、奈良ユニセフだよりに寄せていただきました。

■ 人は、なぜ旅をするのでしょうかー

自分を見つける旅をして50年。私は、世界の国々へ音楽の旅を続け、その感動、刺激から帰国する度に、新しい音楽活動が誕生した。

今年42年を迎え、新たな形となって生まれ変わった“まつぼっくりファミリー合唱団”の元になった、“まつぼっくり少年少女合唱団”は、私のインドへの仏跡の旅から始まった。当時のカルカッタ空港で初めて目にしたホームレスの子どもたちの生き生きしたまなざしの強さに心奪われ、帰国後半年でまつぼっくりを、8人の子どもたちで結成。その後も、多くの子どもたちと、吉野の過疎地へわらべうた採譜の合宿をする“蟻の目”…そして、中国・オーストラリア・韓国・アメリカ・インドと海外へも“鳥の目”…となって活動を続けてきた。



2000/7 ニューヨーク
国連本部でのコンサート

中でも、ニューヨーク国連本部のエントランスで、浴衣姿で大和のわらべうたで遊びを展開し歌ったあの光景は、国連へ訪れた世界各国の人々の注目を浴び、私たちの誇らしい思い出となっている。

コロナ禍までの10年間、年に3〜4回、私は、インドの学校を訪れ、現地のわらべうた採譜、大和のわらべうたや日本の唱歌等を日本語やヒンディー語にして教えたことも私の宝物。「インドは貧困ではない。生活は貧しくても、心は困っていない！」と言った私の長年のインドの友人。最近では、まもなく世界第一の人口となろうとしているインド。めざましい経済成長が期待されるなか、一方では、随分改善されてきたカースト制度。生活が貧しい人々の姿も決して見過ごすことはできない。



2014/12 日印国際交流の旅
ロバムドラ小学校(インド・アグラ)

■ 今秋、インドの大改宗式で日本の歌を歌うことにー

今年春訪れたインドで出逢った佐々井秀嶺上人は、アウトカーストの貧しい人々を救おうと、50年間でまもなく2億人になる人々を仏教徒に改宗させた。そして私の奉納した ♪故郷 ♪上を向いて歩こう の歌に感動され、この秋私は毎年数十万人が集まるその大改宗式で、日本の歌を歌うことになった。



私は10年間、様々な学校を訪れ、スラムの子どもたちにも教える機会に恵まれた。そして教えた子どもたちに必ず彼らに夢を聴いた。恵まれた学校の子どもたちに夢を訊ねた時、彼らのリクエストで私の夢も語った。「あなたたちが学校へ来る時、毎日見かける路上の子どもたち…どう思っていますか？あなたたちが大きくなった時、自分たちの国の貧しい子どもたちを、自分たちで救える、そしてそんな子どもが一人でも少なくなっているインドが、私の夢です。」子どもたちは、感動して力強く「Yes」といつてくれた。授業が終わり、先生たちが私に駆け寄り、目にいっぱい涙を浮かべハグをした。私はインドの子どもたちへこのメッセージを伝えるのに10年かかった。

2024/2 インド・インドラ寺
住職 佐々井秀嶺上人

■ 幸せを願う子どもたちのために自分ができることはー

宗教や国が違っても、未来を担っていく子どもたちの思いはひとつ“平和な世界であること”… 家族や友人が幸せであることを願わない子どもはいない。そのために自分に何ができるのだろう！と自問自答しながら、今年もまたインド、ネパール、そして来年戦後80年を迎える前に、奈良からのメッセージをひっさげて、オーストラリアの子どもたちに ♪故郷 の歌を教えに行く。



2001/7 ユニセフハウス
オープン記念式典にて

出前学習会を行いました

2024年 6月21日 人権・同和問題「啓発連協」
7月 3日 大和郡山市立片桐中学校

2024年6月21日、奈良県市町村会館で行われた人権・同和問題「啓発連協」の推進企画会議において、ユニセフ活動や貸し出し資材について紹介しました。県内39市町村自治体の方々が出席。ユニセフが行っている子どもたちへの支援活動について理解を深めていただきました。

また7月3日、大和郡山市立片桐中学校2年生約100名の生徒を対象に出前学習会を実施。

前半は“ユニセフと世界の子もたち”と題して、紛争、気候変動、貧困など世界の子もたちがおかれている状況、子どもの権利条約、SDGsについて座学を行いました。

後半は“水がめ運び”“蚊帳吊り”“支援物資”による実習を行いました。栄養剤やワクチンを実際に触り、その効果等について熱心に質問が寄せられました。



2024年 6月 1日
第6回ユニセフシネマの集いを開催
「グッド・ライ ～いちばん優しい嘘～」
会場 奈良公園バスターミナル レクチャーホール

2024年6月1日、奈良公園バスターミナルのレクチャーホールにおいて、第6回ユニセフシネマの集い「グッド・ライ～いちばん優しい嘘～」(2014年の作品)を開催しました。



1983年アフリカ大陸のスーダンで内戦が始まり、数万人の子どもたちが両親の命と住む家を奪われました。2000年になってアメリカとスーダンが協力し、難民キャンプで育った3600人の若者たちを全米各地に移住させる計画を実施。突然、自由の国への切符を手渡された若者たちと、彼らを受け入れたアメリカ人たちの間に、いったいどんなドラマが起きたのか？実話に基づいた映画です。



ホワイエに、支援の現場で使用されているワクチン、栄養治療食や浄水剤などを展示。また2015年にアグネス・チャさんが、独立後も内戦が続く南スーダンの様子を取材した時の写真パネルも展示し、見ていただきました。

100人を超える皆さんに映画をご覧いただき、またご来場の方から多くの募金が寄せられました。お礼申し上げます。

2024年 3月18日～22日 奈良公園バスターミナル
3月26日～31日 奈良県立図書館
ユニセフ写真展「ガザでの10日間」開催

2024年3月、奈良公園バスターミナルと奈良県立図書館の2会場において、4人の写真家ドートン氏、アクイリ氏、マクファーレン氏、アルーアザーヴィ氏が10年以上前にガザで撮影した子どもたちを中心とする写真展を開催しました。

戦闘下にあるパレスチナ・ガザ地区において、多くの犠牲者を出し、命の危険にさらされる子どもたちの現状を伝え、今も続く戦闘の一日も早い終結を訴えました。



3月18日～22日に開催された奈良公園バスターミナル会場では、18・20・22日の3日間、写真家の1人マクファーレン氏によるギャラリートークが開催され、延べ約30名の方が参加。4人の写真家が撮影した1枚1枚の写真について、撮影時のガザの実情を交えながら説明が行われました。



ブース出展 @ ガールスカウト国際理解の集い

2024年2月11日、河合町総合福祉センターで、ガールスカウト奈良県連盟が開催した国際理解のつどい”みんなでワールドツアーにLet's Go!”に、県ユニセフ協会ではブースを出展しました。栄養補助食、水かめ、ワクチンや蚊帳などを展示し、合わせて世界の子もたちの実情を紹介。約100名のガールスカウトの皆さんに熱心に見ていただきました。



エンジョイ・ウォーク @ ボーイスカウト

2024年4月29日、近鉄西大寺駅から奈良大学までの約4.7kmのコースでボーイスカウトの皆さんと共にユニセフエンジョイ・ウォークを行いました。スカウトの皆さんは北口広場で受付を済ませたのち、奈良大学で開催される日本ボーイスカウト奈良県連盟大会の会場に向けて元気に出発しました。



SDGsブース @ 奈良県コンベンションセンター

2024年6月8日、9日、奈良県コンベンションセンターで開催された奈良日産自動車様の展示会にSDGsのブースを出展し、ユニセフ活動のすべての分野がSDGsと密接に関わっていることを紹介。また、多くの来場者の皆さまから募金をいただきました。



街頭募金を行いました!!

東大寺や興福寺、近鉄奈良駅や大和西大寺駅の駅前において、ボランティアの皆さん、そして高校生や協力者のご協力のもとに街頭募金を行いました。

東大寺参道にて

2024年4月17日、東大寺南大門南側の参道でユニセフ募金を行いました。参拝客の多くが海外からの観光の方で、他国語対応の準備不足が懸念されましたが、多くの皆さんから募金をお寄せいただきました。お礼申し上げます。天候にも恵まれて気温もぐんぐん上昇し、2時間の活動でしたがいい汗をかくことができました。



興福寺境内にて

2024年5月22日、興福寺境内で募金活動を行いました。当初は五十の塔の工事現場を避けて登大路付近で始めましたが、工事で人の流れが変わってしまい、中金堂の南側付近へ移動。工事騒音の中での呼びかけとなりましたが、海外からの観光客に加えて修学旅行の生徒さんから多くの募金をいただきました。ありがとうございました。



近鉄奈良駅前にて

2024年6月9日、昼前から近鉄奈良駅前の行基像付近で募金を呼びかけました。あいにくの雨天でしたが、午後には、恒例となった“プライトンゴスペルクワイア”の皆さんの美しく、そして力強い歌声とのコラボで募金活動を実施しました。多くの方が立ち止まって歌声に聞き入り、リズムに合わせて手拍子をするなど楽しんでいただき、多くの募金が寄せられました。ありがとうございました。



近鉄大和西大寺駅前にて

2024年6月22日、近鉄大和西大寺駅南北通路で募金活動を行いました。当日はボランティアの皆さんに加えて、奈良大学附属高校生徒会の皆さんのご協力もあって、にぎやかで元気な募金活動となりました。奈良大学附属高校の皆さんには、年末のハンドインハンド募金の時も呼び掛けていただいております。感謝です。



「東大寺」「春日大社」 外国コインをお寄せいただきました

東大寺様、春日大社様、その他多くの個人の皆さま方より、たくさんの外国コインをいただきました。コロナ禍の沈静化に伴い、皆さまからの外国コイン募金が増えつつあります。お礼申し上げます。



学校・団体紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

奈良中学生サッカーフェスティバル 記念Tシャツの売上の一部を募金



2024年3月27日に生駒市高山スポーツセンターで、奈良中学生サッカーフェスティバル実行委員会様より、ガザの被災者支援の募金をいただきました。同実行委員会では毎年フェスティバルを開催し、その時販売したTシャツの売り上げの一部を募金していただいています。

“あいさこいさ祭り”で募金活動 県立宇陀高等学校



2024年6月2日、近鉄榛原駅前の商店街(旧伊勢本街道)で行われたあいさこいさ祭り(おかげ祭り)で、県立宇陀高等学校の皆さんがユニセフ募金活動を行ってくれました。ブース付近にとどまらず、高校生の皆さんが商店街全体を歩きながら募金箱とパネルを持って呼び掛けていただきました。

使用済み切手を収集・持参 グループホーム“どんぐり”



2024年5月14日、奈良市のグループホーム“どんぐり”の皆さんが、関係先をお願いして収集し、整理した大量の使用済み切手を県ユニセフ協会の事務所へ持参いただきました。今回もホームに入居の方が車いすで来られ、事務所で授与式を行わせていただきました。

東大寺参道で募金を呼びかけ 立正佼成会の皆さん



2024年5月19日、あいにくの雨にもかかわらず立正佼成会様が東大寺の参道にてユニセフ募金を開催されました。約20名の皆さんが降りしきる雨の中、日本語、英語などで募金を呼び掛けてくださり、多くの観光客の方から募金寄せられました。

募金協力(学校・その他団体) 2024年1月~6月 ご支援ありがとうございました!

佐藤薬品工業(株)有志会、佐藤薬品工業(株)野球部OB会、カットインペペ、市民生活協同組合ならコープ、浄教寺、元興神クラブ、佐藤薬品工業(株)ゴルフ会、ガールスカウト奈良県連盟、奈良県医師会、佐藤薬品工業、奈良中学生サッカーフェスティバル、佐藤薬品協会、県立宇陀高等学校、日本ボーイスカウト奈良県連盟、奈良日産自動車(株)、プライトン・ゴスペル・クワイア、奈良大学附属高等学校生徒会、奈良県経済倶楽部

(順不同、敬称略)

賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同して下さる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- *一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- *賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- *会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- *賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。

使用済み切手回収

「使用済み切手」を集めています。皆さまのご協力をお願いします。

お寄せいただいた使用済み切手は、換金され募金として開発途上国の子どもたちの命と健康、権利を守るためのユニセフ（国連児童基金）の活動に役立てさせていただきます。

切手は剥がさずに、切手の回りに5mmほどの余裕を持って切り取って下さい。



切手の周りに5mmほどの余裕を持って切り取って下さい。

使用済み切手のほかにも集めています。

未使用切手 **書き損じハガキ** **使い残しハガキ**

*奈良県ユニセフ協会事務所へご持参・郵送ください。

ボランティア募集

奈良県ユニセフ協会では、下記の活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

学生の方も大歓迎です。

世界の子どもたちの現状、ユニセフやボランティア活動に関心をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく活動を始めませんか。

お気軽に事務所までお問い合わせください。

- ◆ 募金活動
- ◆ イベントスタッフ
- ◆ ユニセフ学習会講師
- ◆ 機関紙発行
- ◆ 事務所でのお手伝い



奈良県の賛助会員

日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の活動は賛助会員様により支えていただいています。ご支援ありがとうございます。

奈良県の賛助会員

一般・学生賛助会員

個人の賛助会員193人から212口のご支援を頂いています。（2023年8月現在）

団体賛助会員

現在8団体(9口)のご支援を頂いています。

日ごろのご支援に感謝し、ご紹介させていただきます。

- ・(宗)東大寺
- ・株式会社中谷本舗
- ・佐藤薬品工業株式会社
- ・新生薬品工業株式会社
- ・奈良県農業協同組合
- ・株式会社ヒロセ家工房
- ・株式会社フクダ不動産
- ・三和澱粉工業株式会社



(2024年6月現在、順不同、敬称略)

※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。

unicef 奈良県ユニセフ協会

〒630-8215 奈良県奈良市東向中町6番地
奈良県経済倶楽部ビル404号室

Tel 0742-25-3005 Fax 0742-25-3008

E-mail: unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ: www.unicef-nara.jp/



※事務所開所日: 月・火・水・木 11:00~16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。

